

平成18年3月期 第1四半期の事業報告にあたって

拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より株主の皆様からお寄せいただいております暖かいご支援に心より感謝申し上げます。
さて、平成18年3月期第1四半期（平成17年4月1日から同年6月30日まで）の3ヶ月の連結決算につきまして、その概要をこのウェブサイトを通じて報告いたします。

当社は本年3月にグループの進むべき指針として本年度から平成20年度までの4事業年度を対象とする中期経営計画「V-5プラン」を策定いたしました。この経営計画は、当社をとりまく経営環境の変化にすばやく且つ適切に対応し、更なる選択と集中によってより強い企業グループになることを狙いとしております。
V-5プランでは、グループ収益力の大幅な向上に向け、重点分野である情報機器およびオプト事業に経営資源を集中して事業強化を進め、赤字を計上しているフォト事業については事業を適正規模へ縮小させるとともに、そのコア技術を新たな事業分野で活かせるよう構造改革を進めております。

当第1四半期は、グループ目標達成に向けて順調にスタートいたしました。
各事業状況につきましては次ページ以降の営業概況の中で詳しくご説明いたしておりますので是非ご高覧ください。

V-5プランの必達を常に考え、ポートフォリオ経営を徹底し、企業価値向上に取り組んでまいります。
今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成17年8月
コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長 岩居 文雄

連結財務ハイライト

(単位：百万円、未満切捨)

	平成18年3月期第1四半期	平成17年3月期第1四半期	増減
売上高	244,023	262,031	△18,008
営業利益	18,183	16,951	1,232
経常利益	17,761	17,119	641
四半期純利益	7,316	7,245	71

グラフ

- ▶ [売上高の比較](#) □
- ▶ [営業利益・経常利益・純利益の比較](#) □

(単位：百万円、未満切捨)

	平成18年3月期第1四半期	平成17年3月期第1四半期	増減
総資産	943,739	955,542	△11,803
株主資本	345,229	339,729	5,500
株主資本比率(%)	36.6	35.6	1.0
有利子負債	262,931	246,346	16,585

グラフ

- ▶ [有利子負債残高の推移](#) □

(単位：百万円、未満切捨)

	平成18年3月期 第1四半期	平成17年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,623	△5,383	1,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,974	△15,196	3,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,232	12,401	2,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,498	75,614	△16,116

営業概況（平成17年4月1日～同年6月30日の3ヶ月）

V-5プランをベースに

本年3月にグループの進むべき指針として平成17年度から20年度までの4事業年度を対象とする中期経営計画< [V-5プラン](#)>を策定いたしました。本計画は、当社グループを取り巻く経営環境の諸変化に関する対応をスピードをあげて適切に実行し、更なる『選択と集中』によって『より強い企業グループ』となることを狙いとしております。その初年度として当期は、事業ポートフォリオ経営を徹底し、グループ収益力の大幅な向上に取り組んでおります。

順調なスタート

連結売上高

2,440億円（前年同期比 △6.9%）



新製品を中心に販売好調なカラーMFP（多機能複写機）や強い需要に支えられて拡大基調が続く液晶材料等が寄与しました。

フォトイメージング事業が損失解消に向けて事業規模の縮小を進め売上を減少させていることもあり全体では減収となりましたが、概ね計画線上で推移しました。

営業利益

181億円（前年同期比 +7.3%）



営業利益率

7.5%（前年同期比 +1.0ポイント）



原油価格等原材料の高騰やデジタルカメラやカラーフィルム等の価格競争激化などの影響をコストダウンや新製品投入等で吸収し、売上総利益率が前年同期の44.5%から48.0%へと3.5ポイント上昇したこと、販売費及び一般管理費で、情報機器事業やオプト事業で増加する一方、フォトイメージング事業で大きく削減したことに加え、合理化効果や一部経費の未消化もあり全体としては前年同期比で8億円の減少となったことが貢献しました。

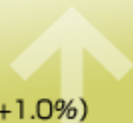
経常利益

177億円（前年同期比 +3.7%）



四半期純利益

73億円（前年同期比 +1.0%）



平均為替レート

米ドル

107.69円（前年同期比 2.08円の円高）



ユーロ

135.57円（前年同期比 3.29円の円安）



売上高、及び営業利益における為替影響額は両通貨の円高・円安効果がほぼ相殺され軽微。

財政状況

総資産

9,437億円 (前期末残高比 △118億円)

主な増減項目は、売上債権の166億円減少、たな卸資産の58億円増加などです。

株主資本比率

36.6% (前期末比 +1.0ポイント)

株主資本は3,452億円となり、1株当たりの株主資本は650.23円（前期末比10.43円増加）となりました。

営業キャッシュ・フロー

△ 36億円

税金等調整前四半期純利益135億円と、減価償却費の124億円、売上債権の減少の160億円が大きく貢献したものの、たな卸資産の増加、仕入債務の減少による87億円のマイナスに加え、法人税等の支払額が210億円となったことなどが影響しました。

投資キャッシュ・フロー

△ 119億円

主に、情報機器事業・オプト事業の有形・無形固定資産の取得に対するものです。

フリー・キャッシュ・フロー

△ 155億円

財務キャッシュ・フロー

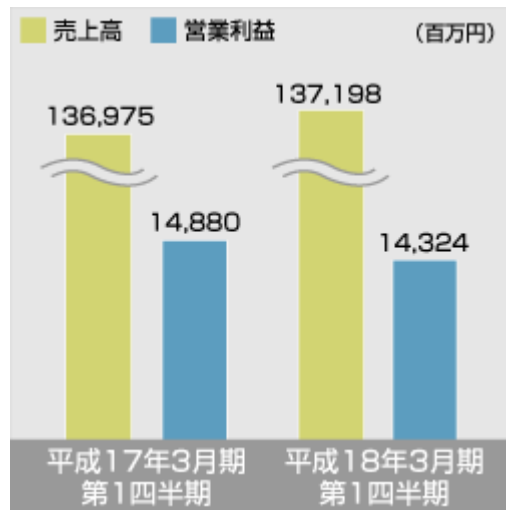
152億円

短期借入金の増加195億円と配当金の支払額26億円のマイナスが主な内容です。

セグメント別営業概況

情報機器事業：MFP（多機能複写機）、プリンタなど

売上高、営業利益ともほぼ前年並みの実績。計画に対しては売上、利益とも順調に推移。



MFP事業

本年2月から発売を開始したカラーMFPの新製品「bizhub（ビズハブ）C450」の販売が各国市場で好調に推移したこと、また6月に製品化した「bizhub C351」によるカラーMFPの製品ラインアップの拡充により、当四半期のカラーMFP販売台数は順調に推移し、前年同期比で92%増と大幅に拡大しました。
プロダクションプリント（軽印刷）市場向けの高速MFPについても販売台数は前年同期比36%増と着実に拡大しました。

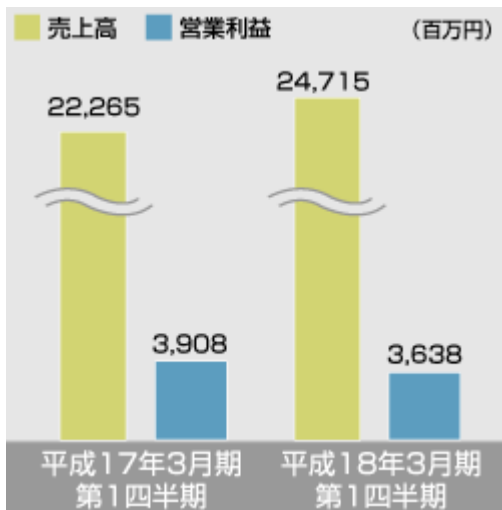
プリンタ事業

これまで注力してきた低速セグメントだけでなく、昨年後半からは「magicolor 5400シリーズ」など高速セグメントへも製品ラインを広げて販売シェアの維持・拡大に取り組みました。カラー機の販売台数は自社ブランドビジネスでは前年同期に比べて80%増と実績をあげております

が、OEMビジネスの大幅減や新規参入などの影響により競争環境は一層激化し、全体では35%減となるなど厳しい状況となりました。モノクロ機の販売台数は、自社・OEM合わせ全体では前年同期比で9%増と堅調に推移しました。

| オプト事業：光学デバイス、電子材料など

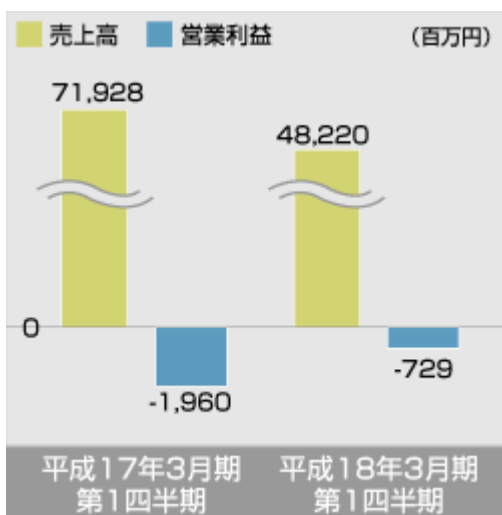
前年同期比では増収減益。計画に対しては売上、利益とも順調に推移。



主力の光ピックアップレンズ事業は、やや弱含みに推移しましたがデジタル民生機器向けを中心として回復傾向を示し始めています。液晶偏光板用保護フィルム事業は、強い需要の続くなか、販売数量は前年同期比32%増となりました。ガラス製ハードディスク基板事業も前年同期比で43%増と販売数量を拡大しました。レンズユニット事業ではビデオカメラ向けの需要が回復、カメラ付携帯電話向けコンポーネント事業ではマイクロカメラが堅調に推移しました。

| フォトイメージング事業：写真感光材料、デジタルカメラ、インクジェットメディアなど

損失解消に向けて事業規模の縮小を進めているため売上は前年同期比で大きく減収。損失幅は前年同期に比べて縮小。カメラ事業の事業構造改革はほぼ計画線上で推移。



フォト事業

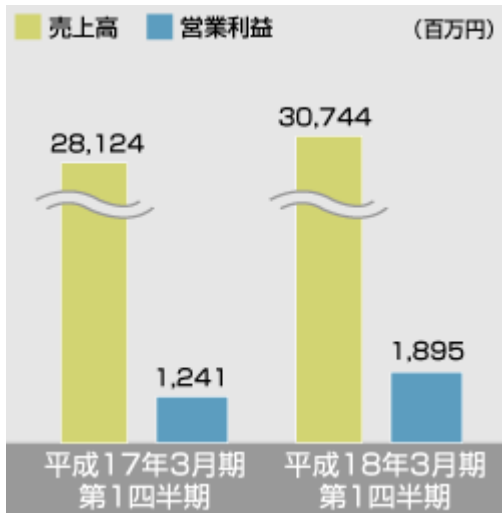
アジア・インド・ロシア・中東等の市場における在庫調整や欧米地域での市場縮小の加速化により、カラーフィルムの販売数量は前年同期比約30%減と大きく減少しました。また、デジタルミニラボ機事業でも、価格競争激化により販売台数は前年同期比で40%減となりました。印画紙事業も前年同期比で26%減となるなど、主要製品の販売は総じて低調な結果となりました。

カメラ事業

高付加価値製品中心にラインアップを絞り込み、規模の拡大を志向せず、適正規模への縮小を図る事業構造改革を進めるなか、コンパクトタイプのデジタルカメラの販売台数は前年同期比で23%減となりましたが、今春発売の新製品の販売が好調に推移するなど、収益改善の兆しも見え始めました。

| メディカル&グラフィック事業：医療用・印刷用製品など

前年同期比で増収増益。



医療分野

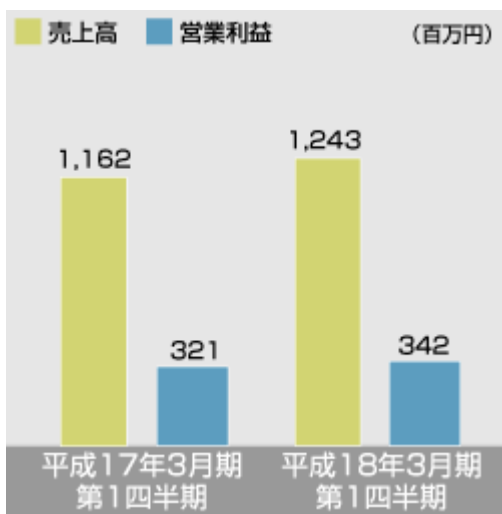
デジタルX線画像撮影装置「REGIUS（レジウス）」シリーズや画像出力装置「DRYPRO（ドライプロ）」シリーズなどのデジタル入出力機器の販売が国内外で好調に推移し、販売台数は前年同期比71%増と大きく伸張しました。ドライフィルムの販売も前年同期比11%増と堅調に推移しました。

印刷分野

印刷用フィルムについては、国内での需要減少が続きましたが、海外で健闘し、全体としては前年同期比で4%減にとどまりました。機器販売では、新規分野として注力しているデジタルカラー印刷機「Pagemaster PRO（ページマスター プロ）」が国内外で販売台数を大幅に伸ばしました。

計測機器事業：色計測・三次元計測機器など

前年同期比では増収減益。



大画面テレビ・液晶テレビなどフラットパネルディスプレイ業界での色管理工程においてデファクト機として高い評価を受けているディスプレイカラーアナライザーや、自動車産業をターゲットにした分光測色計などの色計測事業を中心に販売は堅調に推移しました。

連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円、未満切捨）

勘定科目	当第1四半期 (H17年6.30現在)	前期 (H17.3.31現在)	増減	前年同四半期 (H16.6.30現在)
	金額	金額	金額	金額
現金及び預金	59,348	59,330	18	75,031
受取手形及び売掛金	226,478	243,098	△16,619	219,007
たな卸資産	183,307	177,505	5,801	186,305
その他	62,360	62,794	△433	66,355
流動資産	531,495	542,728	△11,233	546,699
有形固定資産	223,888	222,617	1,271	221,948
無形固定資産	107,539	109,625	△2,086	119,374
投資その他の資産	80,816	80,570	245	91,283
固定資産合計	412,243	412,813	△569	432,606
資産合計	943,739	955,542	△11,803	979,306
支払手形及び買掛金	135,179	138,074	△2,895	139,819
有利子負債	262,931	246,346	16,585	285,211
その他	198,562	229,671	△31,109	211,849
負債合計	596,673	614,092	△17,419	636,880
少数株主持分	1,836	1,720	116	1,153
資本合計	345,229	339,729	5,500	341,272
負債・少数株主持分 及び資本合計	943,739	955,542	△11,803	979,306

連結財務諸表（要約）

損益計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	当第1四半期 H17.4.1～H17.6.30		前年同四半期 H16.4.1～H16.6.30		増減		前期 H16.4.1～H17.3.31	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	増減率 (%)	金額	百分比 (%)
売上高	244,023	100.0	262,031	100.0	△18,008	△6.9	1,067,447	100.0
売上原価	126,903	52.0	145,313	55.5	△18,410	△12.7	597,800	56.0
売上総利益	117,119	48.0	116,718	44.5	401	0.3	469,647	44.0
販売費及び一般管理費	98,935	40.5	99,767	38.1	△831	△0.8	402,069	37.7
営業利益	18,183	7.5	16,951	6.5	1,232	7.3	67,577	6.3
営業外収益	2,303	0.9	3,177	1.2	△874	△27.5	8,971	0.8
営業外費用	2,725	1.1	3,008	1.2	△283	△9.4	22,931	2.1
経常利益	17,761	7.3	17,119	6.5	641	3.7	53,617	5.0
特別利益	35	0.0	49	0.0	△14	△28.1	3,177	0.3
特別損失	4,295	1.8	1,034	0.3	3,260	315.1	21,364	2.0
税金等調整前四半期純利益	13,502	5.5	16,134	6.2	△2,632	△16.3	35,430	3.3
税金費用	6,088	2.5	8,923	3.4	△2,834	△31.8	27,352	2.6
少数株主利益(損失は△)	96	0.0	△33	△0.0	130	—	553	0.0
四半期純利益	7,316	3.0	7,245	2.8	71	1.0	7,524	0.7

連結財務諸表（要約）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	当第1四半期 H17.4.1～H17.6.30	前年同四半期 H16.4.1～H16.6.30	前期 H16.4.1～H17.3.31
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,623	△5,383	55,680
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,974	△15,196	△49,343
I + II. フリー・キャッシュ・フロー	△15,597	△20,579	6,336
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	15,232	12,401	△31,614
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	376	88	642
V. 現金及び現金同等物の増減額（減少:△）	11	△8,089	△24,635
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	59,485	83,704	83,704
VII. 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	1	—	416
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	59,498	75,614	59,485

トピックス

経営関係



中華人民共和国・上海に傘型企業を設立

- ▶ [もっと詳しく](#)
- ▶ [プレスリリース](#)



重合法トナー生産増強のため、株式会社コニカミノルタサプライズ「第3工場」設立を決定

- ▶ [プレスリリース](#)



コニカミノルタフォトイメージング株式会社とソニー株式会社がデジタル一眼レフカメラの共同開発で合意

- ▶ [プレスリリース](#)



コニカミノルタエムジー株式会社の米国法人が米国の大手印刷用プレートメーカーのアメリカンリソ社を買収

- ▶ [プレスリリース](#)

事業関係



高画質カラープリントとコンパクトボディを両立したフルカラー複合機『bizhub C250』を発売

- ▶ [プレスリリース](#)



オンデマンド市場の時代をリードする高速デジタル複合機「bizhub 920」/「bizhub PRO 920」を発売

- ▶ [プレスリリース](#)



レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ『コニカミノルタ αSweet DIGITAL』を発売

- ▶ [プレスリリース](#)

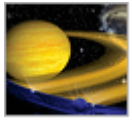


腕時計型パルスオキシメータ「酸素飽和度モニタ PULSOX-300」を発売

- ▶ [プレスリリース](#)

「つくばエキスポセンター」の新プラネタリウムに「ジェミニスターIII」採用決定

、



▶ [プレスリリース](#)

社会環境関係



「チームマイナス6%」のイベント「ブラックイルミネーション2005」に参加

▶ [プレスリリース](#)



「コニカミノルタCSRレポート2005」を発行し、WEBサイト上でも公開

▶ [プレスリリース](#)

その他



日本カメラ博物館特別展『コニカミノルタ展「革新を求めて」』に協力

▶ [プレスリリース](#)